

情報
発信

提言 4つの柱 教育

組織
拡大

令和4年度 プロジェクトの活動と求職者の動向

就職につなげる人材育成のために4段階のイベントを企画

仕事の魅力
発見フェス
75名

企業
見学会
44名

模擬
面接会
16名

実習
希望者
10名

就職者
2名

模擬面接会に参加した16名のうちフェア参加が2名と、就職につなげる対象者の育成に難しさを感じる結果となりました。雇用促進フェア参加人数と合わせ、就職希望者を育てるための課題を感じ、今回の全体会のテーマとしました。

令和3年度十勝管内
障がい者雇用率達成割合

49.6%
(前年度比3.8%ダウン)

【考えられる状況と課題】

- 福祉的就労から一般就労へつながる方が減少
- 雇用が一部の企業に集中している傾向
- 就業場所の立地が遠方のため、通勤面の課題で応募に至らないケースが多い

地元企業の傾向として従業員数43.5～45.5名の企業割合が多く、雇用率の引き上げに伴い「障がい者雇用0人企業」が増加、雇用率達成割合を引き下げる要因の1つになっています。

障がい者雇用を進める上では、企業への雇用促進のアプローチと同時に、福祉への働きかけを行い、需要と供給のバランスを取る必要があります。

また、多様化する働き方に対応できる求人内容のバリエーション、ハローワーク求人以外からの応募が多い状況を鑑み、周知の仕方への工夫が求められています。

そのために

雇用を検討している企業が多い一方、その多くは定着せず、求職者も企業も障がい者雇用に対するハードルが高くなっているのではないかと考察します

そのために

- 雇用を検討している企業への、雇用・定着に関わる相談
 - 求職者に対し、年間を通して職場見学・体験実習の受け入れを引き続き実施します
- ※希望に合わせて随時開催しています。
詳しくは事務局までお問い合わせください。
(十勝障がい者就業・生活支援センターだいち)

雇用促進・就労定着プロジェクトからのお知らせ

【雇用事例集の作成】

プロジェクト版

求職者への働きかけとして、職種や業種、障がい者雇用の情報を提供。現在8社掲載中。
※当センターホームページ「企業からのお知らせ」をご覧ください

帯広市版

企業の雇用促進につなげるため、雇用までのプロセスや関わり方、制度や助成金などを情報提供
※今後、帯広市ホームページに掲載していきます

プロジェクト企業一覧（あいうえお順）

浅野青果・AW アグリトラスト・オカモトホールディングス・音更町柏寿協会・帯広ガス・帯広けいせい苑・帯広信楽苑・帯広電子
この葉おとふけ・コムコの里おびひろ・コムコの里さらべつ・土幌町振興公社・JA 上土幌町・とち帯広ヤマザキ・十勝毎日新聞社
パーソルファクトリーパートナーズ・パナソニックスイッチングテクノロジーズ・福原・芽室けいせい苑（19社21名）